事例No.	1993
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	北海道仁木町

事例区分	DX

タグ	・移住定住 ・関係人口 ・ICT

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

ワーケーション施設等への環境整備補助の導入

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

13 ワーケーション施設等への環境整備補助の導入【北海道仁木町】

事業の概要

○ 仁木町では、リモート環境を有したワーケーション施設の整備を行う主体へ事業費の補助による支援を実施している。

○ 北海道でも有数の自然豊かなまちであることを活かし、自然の中で働くことへの魅力を感じてもらい、観光振興だけでなく、関係人口の創出など、移住・定住の促進を目的としている。

ワイン畑の目の前で働く？！

施設名：NIKI Hills Winery



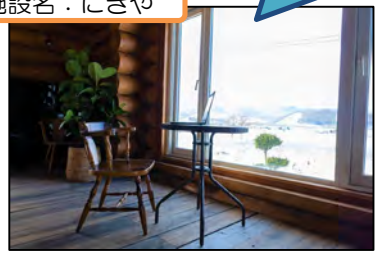
BBQができる施設も！

施設名：A-ja(エイジャ)



自然に囲まれて。。。

施設名：にきや



○ 現在、仁木町内で３つのワーケーション施設が整備されており、個人だけでなく、団体の利用にも対応できるようになっている。

【参考情報①】 人口：0.3万人
関連URL：
https://hokkaido-work-vacation.com/model-list/niki/

【参考情報②】企業版ふるさと納税（内閣府）とは
URL：
https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/kigyou_furusato.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う就業形態の変化に対し、仁木町としてなにができるかということを検討した結果、アフターコロナ時代における新しい働き方の定着を目的とする、今回の事業を実施することとなりました。



（仁木町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

テレワーク環境の整備という点で、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。

また、企業版ふるさと納税にて、企業様からいただいた寄附の一部を財源に充てています。





これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。

ワーケーション施設の整備にあたっては、他自治体との差別化を図りつつ、施設利用者の需要を把握することが重要であると考えています。

利用者の求めるものと、その地域が持つどの特色や強みが合致するかを検討することが重要ではないでしょうか。



★担当：仁木町企画課★

令和3年度事業費　12,965千円
（うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）　11,164千円、
企業版ふるさと納税寄附（内閣府）　1,801千円）